

平成29年度実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 豊橋商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考						
				目標①			目標②			得られた効果					ABCD評価				今後の展開・改善点等	
				指標	実績数値	目標数値	指標	実績数値	目標数値	総合評価	事業評価	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標	実施方法		
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者の経営課題(金融・税務・経理・労働・情報等)について相談を受け、商工会議所をはじめ、国・県・市の各種制度の積極的な活用を促すことで、経営改善の一助となることを目的として、相談指導事業を実施する。	巡回・窓口指導延件数 1,505件 巡回・窓口実企業数 1,008件 課題解決提案件数 94件 経営革新承認件数 7件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 96.5%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 72.3%)	経営指導員による巡回・窓口相談指導の結果、小規模事業者へ、商工会議所・国・県・市の金融・雇用・補助金等を中心とした各種施策等を図ることで、経営支援を行うことができた。	総合評価	B	自己評価	B	調査結果	B	満足度	補足	目標	両方現状維持	次年度も引き続き小規模事業者の経営課題解決のため、巡回・窓口相談指導対応をしいて、必要に応じて専門家派遣等を実施する。	
記帳継続指導	管内個人小規模事業者の自主記帳の促進を図ることを目的として、日常の記帳から決算・税務申告に至るまで記帳実務の習得に向けて取り組んでいる。また、決算時には税理士による記帳専門指導を行い、適正な決算書作成に向けて指導する。	指導対象事業所数 21件	小規模事業者	指標	指導対象事業所数 (達成度 210.0%)	指標	(達成度 %)	相談の傾向として創業者(主に美容業・鍼灸院・飲食業等)の方が多く来所され、正しい帳簿作成や確定申告の仕方について指導する事ができ、今後の安定的な経営活動の支援を図る事ができた。	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標	現状維持	創業者や白色申告者を中心に引き続き正しい帳簿の作成・確定申告について指導をしていく。	
講習講演会	目まぐるしく変化する経済情勢に対応した情報提供を通じて、小規模事業者の経営革新と人材育成をサポートする。	小規模事業者向けの講習講演会を年間30回実施 参加者総数 1,167人(内小規模事業者参加人数197人)	小規模、中小事業所の経営者、幹部、社員	指標	小規模事業者参加人数 (達成度 70.4%)	指標	参加者総数 (達成度 129.7%)	参加者、特に従業員に対する計画的な教育機会を提供することによりスキル向上に寄与した。	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	A	満足度	補足	目標	①下げる②現状維持	引き続き計画的なカリキュラムを企画し、安定したスキル向上をサポートしていきたい。小規模事業者が参加しやすいプログラムを検討したい。	
専門相談	複雑化する経営環境に対して、小規模事業者が健全かつ高度な経営が行えるよう、専門的な立場からの意見、アドバイス、指導が容易に得られる場を提供する。	毎月10日(原則)、延べ84回の無料相談会を当所で開催 相談者数 56名	小規模事業者	指標	相談者数 (達成度 80.0%)	指標	(達成度 %)	法律、労務、税務など普段垣根の高い相談を気軽にできる機会を提供することができた。	総合評価	B	自己評価	B	調査結果	B	満足度	補足	目標	下げる	告知活動を強化するとともに利用の少ない相談項目の見直しを検討・実施する。目標数値を変更する。	
青年部	若手経営者、後継者育成のための組織。会員相互の啓発と企業の持続的発展、商工会議所の事業活動の活性化及び地域産業・経済の発展のため、提言、意見具申を含めて各種事業を行う。	第22回会の祭典委員会、ええじやないか委員会、総務広報委員会、会員交流委員会、交流活性化委員会、NEXTYEGプラスα委員会を設置し各種事業を実施した。 開催回数 150回	小規模事業者及び中小企業者	指標	総会・役員会・正副会長会議・委員会の開催 (達成度 141.5%)	指標	(達成度 %)	単会内の事業や渉外事業を積極的に実施し異業種のネットワークの繋がりを強めたことで会員企業の経営発展に寄与することが出来た。	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	A	満足度	補足	目標	現状維持	単会内、渉外事業を積極的に実施することによって地域の活性化に繋げていく。	
女性会	主に小規模事業者・中小企業者である女性経営者及び共同経営者のスキルアップを図ることにより、経営力向上に繋がる可能性があり、事業活性化を図る。	1.役員会12回 2.総会(1回・臨時総会1回)計2回 3.月例会6回 4.その他(異女連総会・関係諸団体諸会合及び各種行事等)	小規模事業者及び中小企業者 または共同経営者	指標	役員会・月例会等開催 (達成度 117.6%)	指標	(達成度 %)	女性会の各種事業等を契機として、女性経営者または共同経営者としての資質向上に繋がり、それぞれの事業面において活かしていくノウハウを得られたことで、事業活性化に繋がった。	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	A	満足度	補足	目標	現状維持	今後も現行どりの目標が達成できるように、女性会の各種事業等を推進していく。	
調査・広報事業	市内の景気動向や地域の事業者の景況を把握・分析し、各種媒体等での公表や経営指導時の活用などを通じ、小規模事業者の経営活動に資するため、市内の(会員)事業所や各種業界団体を対象とした各種調査を実施する。	・豊橋市景気動向調査(4回:回収率52%) ・中小企業景況調査(4回:回収率69%) ・商工会議所LOBO調査(12回)	中小企業	指標	景気動向調査調査票回収率 (達成度 104.0%)	指標	景況調査調査票回収率 (達成度 98.6%)	地域中小企業の景況感を全業種の亘って網羅的に調査し、整理分析を行うことで、中小企業の経営環境や抱えている課題を把握し、その解決に寄与した。	総合評価	A	自己評価	B	調査結果	A	満足度	補足	目標	両方現状維持	集計データ及び分析結果の信頼性を高め、地域経済の実態把握の精度向上を図るため、対象事業所の見直しや数値的規模の拡大を進める。	
税務分析・企業ドック	事業所にとって人間の「健康診断」にあたる「財務診断」(企業ドック)を行い、相談事業所の収益性、安全性、効率性、成長性などの分析およびSWOT分析による労務面、マーケティング面などの課題抽出を行い、課題解決に向けた経営計画書の作成支援を行う。	財務分析・企業ドックの相談数のカウントの基準としては具体的にヒアリング・課題解決提案を行った相談者数である。 相談数 24件	小規模事業者をはじめとする事業者	指標	企業ドック・財務分析の件数 (達成度 200.0%)	指標	(達成度 %)	課題解決により、小規模事業者の売上アップなどの経営改善につながった。加えて、伴走型支援により課題解決を図る形は、商工会議所利活用やレポート率を高め、中・長期的な関係を築く結果も得られた。	総合評価	A	自己評価	B	調査結果	B	満足度	補足	目標	上げる	新規の件数に加えて、これまでのフォローアップ等へも力を入れ、小規模事業者との接点機会を増やす。	
経営計画策定	企業経営の根幹となる「経営計画書」の作成は経営の安定化、長期的な事業発展等に繋がることに加えて、新事業の促進など「強い企業」への育成が期待できると考え、事業者の育成と底上げを図る支援として位置づけている。	経営計画作成の意義やセオリーの紹介と補助金申請なども踏まえた個別指導型のセミナーを1回開催した。	小規模事業者及び中小企業	指標	経営計画作成セミナー・説明会開催回数 (達成度 33.3%)	指標	(達成度 %)	小規模事業者は、日々の営業に追われ、自社の中・長期的なビジョンが欠落しがちであるが、伴走型で行う計画作成支援は、自社を見直す機会、また未経験者にとっては国等の補助金を活用する機会にもつながる。	総合評価	B	自己評価	B	調査結果	A	満足度	補足	目標	上げる	補助金申請をはじめ経営計画作成ニーズは高まっているため継続して行う。なお、次年度は、「事業計画策定支援事業」として実施する。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 豊橋商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考						
				目標①			目標②			得られた効果					ABCD評価				今後の展開・改善点等	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標	実施方法		
創業・企業育成	とよはし創業プラザホームにより、創業のライフステージに応じた適切かつ伴走型の支援を実施し、開業率の向上・廃業率の低減に資することで、地域における企業数の増加及び地域活力の向上、雇用の増加を目指す。	VMD講座、チラシ・HP作成講座、プレスリリース講座、創業ブログ講座、Web接客講座、経営革新講座、事業承継座談会、事業承継計画実践セミナーを各1回開催。他、窓口及び巡回による個別相談に都度応じるほか、講座参加者を中心にフォローアップを行った。 創業支援(延べ) 222件 フォローアップ 49件	創業を目指す方 創業後 まじない方 経営革新を図る方	指標 創業支援者数(延べ) (達成度 88.8%)	250	222	指標 フォローアップ数 (達成度 89.1%)	55	49	創業希望者から小規模事業者のマーケティング、及び経営改善に対し、幅広く支援でき、小規模事業者の成長を後押しできた。	総合評価 A	実施評価 B	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 下げる	実施方法 変更する	来年度は、「事業計画策定支援事業」・「事業計画実施支援」として引き続き支援をしていく。	○
情報交換・商談会	(地域の絆商談会)東三河とその周辺地域の小規模事業者を対象に、商工会議所・商工会・地域金融機関や関係支援機関の協力のもとに実施する事前予約型商談会 (とよはしビジネスネット)バイヤー(発注)企業を決め会員事業所がサプライヤー(受注)企業として応募する“業種・業界特化型”の小規模商談会“新規受注機会の創出で取引先の拡大を図り、企業の振興に資することを目的とする。	(地域の商談会)平成29年11月21日・22日の2日間、豊橋商工会議所にて開催。参加申込み事業所数170。 (とよはしビジネスネット)未実施	小規模事業者	指標 地域の絆商談会参加申込み事業所数 (達成度 91.9%)	185	170	指標 とよはしビジネスネット参加企業数 (達成度 0.0%)	10	0	下請中小企業の技術や製品による新規取引先の開拓と将来の継続的な取引への発展について大変有効・有意義であった。事業チャンスの少ない他地域での事業の巾を広げることにもつながった。	総合評価 B	実施評価 C	自己評価 C	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 ①下げる②上げる	実施方法 両方現行どおり	参加者のより広域化と深堀をはかり商談機会の増大で効果の高い事業とする。	○
プレスリリース資料作成・発信支援サービス	企業の販促促進力の強化を図るため、メディアへの露出を戦略的に取り記事掲載される確率を向上させ、世間に自社商品・サービスの認知度を高めることで、販路開拓を図る。	21社のプレスリリースを支援	市内の小規模事業者等	指標 利用企業数 (達成度 58.3%)	36	21	指標 (達成度 %)			21社のうち、20社がメディアに取り上げられたことにより、認知度を高めることができた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 現状維持	実施方法 現行どおり	プレスリリース先が県内に限定されているおり、全国を商圏と考えている事業者者に現状使いづらいため、プレスリリース先の開拓を検討する。	○
雇用促進事業	<学生就職情報センター>大学生等の新卒予定者と地元優良企業の出会いの場をつくる。 <無料職業紹介所>新卒学生以外の雇用マッチングを行う。	<学生就職情報センター>合同企業説明会等の開催(5/16、6/15、8/3、10/4、2/16、3/7に実施)参加企業数616社、東三河学生就職NAVIの運営。掲載企業数129社。 <無料職業紹介所>求人・求職受付を行い、マッチした案件と確認された場合にあっせんを行う。	小規模事業者をはじめとする会員企業及び就職希望者	指標 参加企業数 (達成度 94.8%)	650	616	指標 学生就職NAVI掲載企業数 (達成度 86.0%)	150	129	小規模事業者へ人材採用機会を提供し、雇用の確保と経営の安定の一助となった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 ①下げる②現状維持	実施方法 両方現行どおり	説明会は企画内容を年度途中で大幅に変更したため次年度はその内容に即して目標値を調整する。ナビは登録企業数は目標値を若干上回っているが実際に掲載している企業が多数の企業が多いので掘え置き。	○
婚活支援事業	市内に事業所をおく小規模事業者をはじめとする事業主・後継者・従業員を対象に、結婚を希望する独身男女の出会いをサポートすることで後継者不足の解消に努めるとともに、地域の企業との連携、地域資源の活用等を通して地域活性化を図る。	パーティー形式、イベント形式による婚活支援事業を4回開催した。	小規模事業者	指標 開催回数 (達成度 100.0%)	4	4	指標 (達成度 %)			男女の出会いをサポートすることで、後継者不足の解消、少子化対策、地域活性化につながった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足	目標 現状維持	実施方法 現行どおり	年齢幅の検討と地域活性化に寄与する企画の検討が必要	○
炎の祭典事業	炎の祭典の開催を通して、全国各地に向けた情報発信による当地域の知名度向上を図るとともに、旅行社、バス会社等を通じて観光客の誘致増強に取り込むことをもって地域経済活性化を図る。	旅行社、バス会社等のツアー観光客数 1,403人	一般市民、市外観光客	指標 ツアー観光客数 (達成度 74.6%)	1880	1403	指標 (達成度 %)			全国に豊橋の手筒花火という伝統芸能を紹介し知名度向上に寄与したとともに、来場客に物産・土産品の販売を行うことが出来た。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 下げる	実施方法 現行どおり	来年度も国内旅行客、特にバスツアーの動向は厳しいものと思定、新しいイベント展開により、顧客満足度の向上により集客増を図ってきたい。	○
ものづくり博覧会事業	ものづくり博覧会、製造業のリーディング産業展として昭和59年から隔年で開催している。エコカーレース、ものづくり教室の開催も連携して、地元ものづくり技術の強さや魅力を「発信」する。また当地域のブランド「三河つくだ煮」の新製品開発及び中小企業の国際化を支援する。	ものづくり博覧会2018開催に向けて、コンセプトや企画内容、併催行事などを検討するため、東三河地域の商工会議所、商工会、行政、また管内企業などで組織する「ものづくり博覧会委員会」を開催した。 委員会開催回数 5回	東三河地域のものづくり企業(小規模事業者を含む)(申込制)	指標 企画委員会の開催数 (達成度 100.0%)	3	3	指標 (達成度 %)			特に近年、広域化も進み、東三河全体による組織づくりに加え、「グルメ展」との併催により、地域内・外への周知が高まっており、次世代若者に向けて地元ものづくり企業にとって絶好の情報発信機会となっている。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持	実施方法 現行どおり	隔年開催のため、インターシンプ支援なども充実させて、出展企業にとって継続的に、ものづくり人材の確保・育成を図れる事業を目指す。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 豊橋商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考				
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等			
				指標	数値	指標	数値	総合評価	事業評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標	現状維持		
地域振興事業	「ええじゃないか豊橋」を中心とした演出をし、特色あるまつりとして多くの来場者を動員することにより商店街をはじめとした中心市街地の活性化を図る。	ええじゃないか豊橋パレカ参加人数 0人 ※台風のためイベント中止	中小・小規模事業者	指標	ええじゃないか豊橋パレカ参加人数 (達成度 0.0 %)	指標	(達成度 %)	残念ながら台風のためイベント中止となったため、実績数値は0であるが、申込者数は約500人を数えていた。	総合評価	B	事業評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標	前所祭を盛大に開催するなど、産業界のまとめ役として豊橋まつりを盛り上げていきたい。事業所の参画を促し、業所PRに寄与できる企画を推進していきたい。
目標数値	500	実績数値	0	目標数値		目標数値											現状維持	実施方法
地域産業活性化事業	地域商店街は、構成店舗の減少、高齢化、大型店舗の影響で単独で活動する事が難しく、商店街が複数連携する事業、地域の大型商業施設との情報交換及び連携イベントの実施により商店街振興を図る。 また、産業構造、都市構造の変化により中心市街地商店街を中心とした商業機能の衰退を、中心市街地活性化協議会及びまちづくり会へ事業支援を行うことで民間活力によるま事業の推進を図ることを目的とする。	①イルミネーションフェスティバル・商業団体街路灯等電灯補助(25団体) ②豊橋商業活動懇話会の開催 ③豊橋市中心市街地活性化協議会へ参画 ④空き店舗対策事業などの活性化事業へ参画(4件)	商店街とそれを構成する小規模事業者及び中心市街地に立地する事業所	指標	参画商店街数 (達成度 96.2 %)	指標	空き店舗活用事業実施店舗数 (達成度 200.0 %)	商店街にある空き店舗を新たな焦点とすることにより中心市街地の活性化に寄与する事が出来た。	総合評価	A	事業評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標	活動している商店街組織数が年々減少しているため「参画商店街数」の目標を実情に合わせた設定とする。
目標数値	26	実績数値	25	目標数値	2	実績数値	4										①下げる②現状維持	実施方法
地域産業活性化事業	豊橋、豊川、蒲郡商工会議所および東三河地区の商工会、㈱サイエンス・クリエイティブ、豊橋技術科学大学の連携により、協働事業の実施等により、管内ものづくり企業の育成強化を図り、新産業・新事業創出に繋がる支援活動を展開する。	産業創出やマッチングを促すための豊橋技術科学大学の研究室紹介事業やものづくり人材の育成のためのMOT講座と見学会等を開催した。また浜松、飯田地区との広域連携により、「東三河のものづくり企業」	東三河の商工会議所内のものづくり企業を対象とした「東三河のものづくり企業」	指標	見学会、交流会、マッチング等の回数 (達成度 125.0 %)	指標	(達成度 %)	初めての試みとなった豊橋技術科学大学の研究室紹介は、テーマと企業とのマッチも見られたものの、大学研究室との連携機会を提供しなかった。ほかマッチング事業においても、販路拡大、連携促進の機会となった。	総合評価	A	事業評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標	新産業や新事業創出の地域としての玉だしやものづくり人材確保に向けた取り組みを強化し、企業力と地域産業力の向上、発展につなげる。
目標数値	4	実績数値	5	目標数値		実績数値											現状維持	実施方法
エコカー事業	次世代を担う子供たちを対象に環境にやさしい技術、取り組みを“ものづくり”を通じて学ぶ機会を提供することにより、CO2削減など環境問題に興味、関心を持ってもらい、将来に向けた人材育成に加え地球環境活動の一助となることを目的として事業を展開する。	1. 第15回高等学校エコカーレース総合大会(6月4日) 2. ものづくり教室の実施(3月23日) 委員会・ワーキング開催 3回	将来ものづくりをめざす高校生、小中学生	指標	委員会・ワーキング開催回数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	次世代のものづくり人材の育成が図られたものづくりや環境に対する意識向上を図ることができた。	総合評価	A	事業評価	A	調査結果	A	満足度	補足	目標	各事業を通じて次世代のものづくり人材育成を図っていく。
目標数値	3	実績数値	3	目標数値		実績数値											現状維持	実施方法
BCP事業	BCP(事業継続計画)を策定し運用する目的は、緊急時においても事業を継続できるように準備しておくことで、顧客からの信用、従業員の雇用、地域経済の活力の3つを守ろうとするにあり、その大切な事項について、周知を図る。	1.BCPセミナー1回 2.第13回防災フェア1回 3.市・地元大学・NPO団体と連携して、BCP普及等に関する検討回	小規模事業者及び中小企業	指標	講習会、普及検討会等の開催回数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	BCPセミナー開催により、非常時の食事実践(実習)を通じて、災害力の向上を図ることができた。防災フェアにおいては、NPO団体・市との連携により、防災セミナー・講演会を開催しBCPの普及を行うことができた。	総合評価	A	事業評価	B	調査結果	B	満足度	補足	目標	BCP普及等を図るため、市・地元大学・NPO団体・関連団体等と連携しながら、BCPセミナー及び防災フェアを実施する。
目標数値	5	実績数値	5	目標数値		実績数値											下げる	実施方法
人材育成事業	事業主、従業員のスキルアップのため、日本商工会議所、東京商工会議所主催の検定試験の実施(内、簿記検定試験受験者数1,399人)	日本商工会議所、東京商工会議所主催の検定試験を実施する。	小規模、中小事業所の従業員、経営者	指標	簿記検定実受験者数 (達成度 77.7 %)	指標	(達成度 %)	検定試験を施行することで、小規模事業者の経営者や従業員のスキルアップ、レベルアップに寄与できた。	総合評価	A	事業評価	B	調査結果	A	満足度	補足	目標	引き続き人材育成を図るべく継続実施する
目標数値	1800	実績数値	1399	目標数値		実績数値											現状維持	実施方法
福利厚生事業	小規模事業者は、福利厚生や不測の事態が起こったときの備えが不十分で、不安定な経営を余儀なくされている場合が多い。そこで、共済・保険への加入促進を図るとともに労働安全衛生規則により義務付けられている定期健康診断を実施することにより、経営の安定と事業主をはじめ、そこで働く従業員が、安心して働ける職場を図る。	生命共済、特定退職金共済制度、PL保険、業務災害補償等、各種共済・保険の加入促進と定期健康診断事業を実施 共済・保険加入事業所数 295社 定期健康診断受診者数268人	小規模事業者	指標	共済・保険加入事業所数 (達成度 147.5 %)	指標	定期健康診断受診者数 (達成度 134.0 %)	小規模事業者の福利厚生を充実させ、事業者及び従業員の健康状態を把握することにより生活習慣病の予防と安定的な事業活動の維持を図るための一助となった。	総合評価	A	事業評価	A	調査結果	B	満足度	補足	目標	引続き共済・保険制度の加入促進並びに健康診断を実施し小規模事業者における福利厚生者の充実を図る。
目標数値	200	実績数値	295	目標数値	200	実績数値	268										両方現状維持	実施方法
																	両方現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 豊橋商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考										
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価				今後の展開・改善点等								
				指標	実績	達成率	指標	実績	達成率	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標								
労働保険事業	厚生労働大臣から労働保険事務組合として認可を受け事業主に代わって各種届出等労働保険の事務を代行し、事業主の事務負担の軽減を図る。併せて中小企業の労働保険適用の加入促進を図る。	労働保険事務新規委託件数46件(保険関係ごとの合計)	常時使用する労働者数300人以下(金融業・保険業・不動産業・小売業は50人以下、卸売業・サービス業は100人以下)	指標 新規委託件数 (達成度 153.3 %)	指標 (達成度 %)	指標 30	実績 46	達成率	指標 10	実績 9	達成率	指標 200	実績 278	達成率	80	実績 83.1	達成率	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	来年度も引き続き新規委託事業所数の増加を図るとともに、委託事業主の事務負担軽減に努め、各種相談にも対応していく。
産業団体等指導事業	豊橋市を中心に、主として東三河の市並びに町に所在する事業所を以って組織し、会員の資質向上のための勉強会並びに経済的諸条件の向上を図ると共に、産業の振興に寄与する。	豊橋鉄工会で以下事業を行った。 ①野球大会(1回) ②総会(1回) ③講演会(1回) ④ボウリング大会(1回) ⑤先進企業見学会(1回) ⑥優良従業員表彰式(1回) ⑦役員、会員懇談会(3回)	市内の中小企業者、小規模事業者	指標 鉄工会事業の回数 (達成度 90.0 %)	指標 (達成度 %)	指標 10	実績 9	達成率	指標 200	実績 278	達成率	80	実績 83.1	達成率	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 現状維持 実施方法 両方現行どおり	基本的には、現行通り各団体のニーズを把握しながら、実施していく。加えて当地域、業界の発展につながるような活動等も支援する。			
若手後継者等育成事業	①青年部は異業種の交流団体として様々な事業実施を通じ会員間の繋がりを強めている。よりビジネス面を強化し商取引・業者紹介に繋げることを目的に事業を実施する。 ②青年部会員企業の経済的発展を図るために大学生・専門学校生を対象に交流の場を設け、企業情報の提供や学生ニーズの把握をする場とする。	①異業種交流会によるビジネスマッチング ②地域経済活性化のための経営者資質向上事業 ①②参加者数 278人 アンケート満足度 83.1%	小規模事業者及び中小企業、大学生・専門学校生	指標 事業参加者数 (達成度 139.0 %)	指標 参加者アンケートによる満足度 (達成度 103.9 %)	指標 200	実績 278	達成率	指標 80	実績 83.1	達成率	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足	目標 ①下げる②現状維持 実施方法 現行どおり	新たな企業間ネットワークの構築や人脈を作る機会となり、今後のビジネス発展に繋げることができた。企業側としては学生との交流により今後の人材採用・育成戦略の一助となり、また学生側としては地元の人材採用・若手経営者と情報交換を図ることで地元企業を知る機会になった事に加えて就職意識を高めることが出来た。	地域の活性化、企業の経営発展に資する事業を展開していく。					

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。